

# 公立大学法人 公立ほこだて未来大学

## 産学連携ポリシー

公立ほこだて未来大学は、以下の産学連携ポリシーにもとづき、産業・経済の発展に資する共同研究や技術移転などの産学連携活動、知的財産化の活動を積極的に行い、研究成果の社会活用に努めます。

### 産学連携— 4つの基本姿勢

#### 1 常に社会の一步先へ

本学ならではの、社会連携を重視した教育研究への取り組みを通じて、常に社会の一步先を行く産学連携の新しいテーマやアイデアを発掘し、産学連携のネットワークを広げ、持続的に発展させていきます。

#### 2 社会との対話

大学のもてる知的資源を最適かつ最善なかたちで社会に活用していくために、産学連携のネットワークを通じたコミュニケーションを重視し、企業や市民、専門家との対話を広く活発に行います。

#### 3 研究成果を社会へ効果的に移転

未来の社会応用を見据え、その基盤となるような基礎的な研究成果や、実用化の可能性の高い研究成果を、共同研究・技術移転・知的財産化、あるいは大学発ベンチャーなどの様々な方法を通じて、効果的なかたちで社会に移転するとともに、研究成果の経済的評価を高め、適切な収益の確保に努めます。

#### 4 地域の成長と発展への貢献

地域に立脚する大学として、科学技術はもとより、新しいビジネスやサービスのアイデア、まちづくり、人づくり、公共政策の形成など、地域の成長と発展に必要な様々なテーマにおいて、積極的に提言し貢献していくことに努めます。

### 産学連携— 4つの行動指針

#### 1 自主性の尊重

産学連携を進めていくうえで、教員（あるいは職員や学生）が積極的に活動を立ち上げ、主体的に活動を推進していくことを重視します。一人ひとりの成員の自主性を最大限に尊重しながら、個人やチームの取り組みを大学が組織的に奨励し支援していきます。

#### 2 組織的な取り組みの推進

近年、大学が社会の要請に呼応して高い貢献を行っていくために、産学連携への組織的な取り組みの重要性が

高まっています。本学もまた、常に社会の一步先、科学技術の一步先を見据えて、重点領域の探求や、戦略的なプロジェクトの組織化に努めていきます。

### 3 取り組みへの積極的な評価

教職員や学生の産学官連携、技術移転や知的財産化の成果について、積極的に評価していきます。

### 4 推進支援体制の整備と支援活動の充実

産学連携や社会連携を実施していくための組織的な推進支援体制を整備し、効果的な活動のための制度の充実や、内外への啓発活動やPR活動に努めます。社会連携センターが中心となって、教職員や学生との密接なコミュニケーションに基づき、これらの実務に取り組みます。



公立はこだて未来大学  
FUTURE UNIVERSITY-HAKODATE